



平成 29 年 7 月 31 日

福岡市政記者 各位

変更

台風の影響を考慮し、
日程を変更します。



～ごみ埋立技術「福岡方式」の 導入に向けた国際協力～

福岡市生まれの環境技術がミャンマーへ！

- 福岡市環境局では、昨年 12 月に新しく姉妹都市となったミャンマー・ヤンゴン市に対して、本市と福岡大学が共同で開発した環境（ごみ埋立）技術「福岡方式※」の導入に向けた技術協力を実施しています。
- 発展著しいヤンゴン市では、現在ごみは野積みされており（オープンダンプ式埋立）、悪臭、メタンガス発生、汚濁化した浸出水による周辺環境への悪影響など多くの環境問題を抱えています。また、オープンダンプ式埋立では早期の跡地活用ができず、都市発展の妨げとなっています。
- ヤンゴン市から福岡方式についての技術協力依頼があつて以降、環境局では埋立場整備に向けた調査等を実施してきました。
- 平成 29 年度は、来年度ヤンゴン市で整備を予定している埋立場の測量及び設計に関する技術協力を、福岡大学及び大成管理開発(株)と協力して実施します。
- 今回、この技術協力の一環として、ヤンゴン市公害防止清掃局（PCCD）から廃棄物処理担当職員 3 名を招聘し、**福岡方式についての専門研修**を実施します（全 7 日間）。
については、下記のとおり**実地研修の様子を取材いただきますようお願いいたします。**
- なお、環境局では今年度、将来のヤンゴン市の環境施策に活かすことを目的として、PCCD 幹部候補生 1 名を招聘し、本市環境施策全般についての長期研修を実施しています。
この長期研修についても、あわせての取材をお願いします。



ヤンゴン市テインピン埋立場（平成 29 年 7 月）

※ 福岡方式については 2 枚目をご参照ください

1 取材のお願い

4 日

8 月 ~~7 日~~ に西部(中田)埋立場において、専門研修の総まとめとなる実地研修を実施します。

この実地研修では、研修員自らが浸出水集排水管やガス抜き管など、福岡方式埋立場の根幹となる設備を作成・設置し、福岡方式へのさらなる理解を促します。

4 日（金）

日 時：8 月 ~~7 日（月）~~ 13 時から 15 時の間

場 所：西部(中田)埋立場（西区今津 4439）

その他：① 取材される場合は、事前に 2 枚目の問い合わせ先までご連絡ください。

② 駐車場を用意していますので車でのご来場も可能です。

③ 専門研修では、上記実地研修の他、福岡方式の特色や構造についての講義、浸出水処理や発生ガス分析についての実習、ヤンゴン市における福岡方式埋立場整備に向けた勉強会等を実施します。（研修期間：7 月 31 日～8 月 8 日）



過去の実地研修の様子

2 福岡方式埋立場の整備にかかる技術協力

ヤンゴン市が抱える環境問題の解決に向け、同市の大規模埋立場（テインビン埋立場）の敷地内に福岡方式を導入したモデル埋立場を整備し、建設や維持管理に必要な技術・ノウハウについて PCCD に技術協力します。

<技術協力のスケジュール>

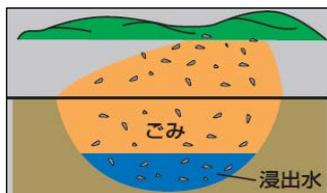
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
新規に整備する埋立場（福岡方式）に関する技術協力	雨季における埋立場整備地調査 専門研修 ← 今回実施 埋立場整備地の測量・設計	福岡方式を用いた埋立場の新規整備 新規整備した埋立場にゴミを搬入しての維持管理	維持管理のフォローアップ	新規整備した埋立場の拡張整備
既存のヤンゴン市埋立場（オープンダンピング）に関する技術協力			福岡方式を用いた既存埋立場の改善	改善状況のフォローアップ

参考：福岡方式について

- ・「福岡方式 (Fukuoka Method)」は、1975年に福岡市と福岡大学が共同で開発した準好気性の廃棄物埋立技術です。その後、日本各地の埋立場で採用され、1979年には旧厚生省（現環境省）が示す最終処分場指針で「日本の標準構造」とされました。
- ・低コスト、簡便、かつ環境にやさしい技術で、海外からも注目を集めており、2011年には国連で「クリーン開発メカニズム (CDM)」の新たな手法として認定されています。
- ・海外では、本市や福岡大学の技術協力によりアジア太平洋諸国など14カ国で採用されています。

<従来の埋め立て方式（オープンダンピング式埋立）と福岡方式（準好気性埋立）の比較>

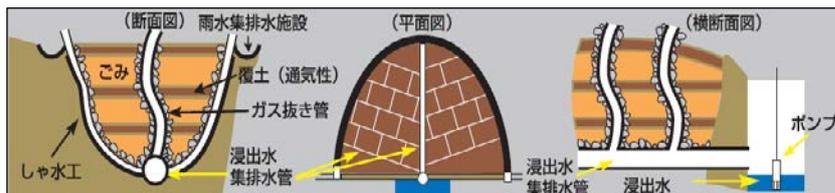
オープンダンピング式埋立



(オープンダンピング式)

- ・ごみを覆う覆土がないため、強い悪臭がある。
- ・浸出水が底部に溜まり汚濁化するため、周辺環境に悪影響がある。
- ・ごみ層内に空気が供給されないため、廃棄物の分解に伴い可燃性のメタンガスが発生する。
- ・メタンガスが大気に放出されずごみ層内に滞留するため、火災・爆発のリスクがある。

福岡方式（準好気性埋立構造）



(福岡方式（準好気性）)

- ・覆土により悪臭や害虫等の発生を防止する。
- ・廃棄物の分解が促進され、浸出水が良質化する。
- ・ごみ層内に空気が供給されメタンガスの発生を抑制し、地球温暖化防止に寄与する。
- ・埋立地の安定化が促進されるため、早期の跡地利用が可能となる。等

【問合せ先】

福岡市環境局環境政策課 鎌・松田
 TEL : 092-733-5381 (内線 2402)
 FAX : 092-733-5592